

# 防災意識の向上に向けた新たなシステム 「私の被害想定」の開発が実現

## 公明党 鈴木ひでし

3月11日で東日本大震災から6年度の2年間で  
度の被災から14年となり 見直しを進めています。  
まず。私はこれまで神 平成27年3月に公表し  
奈川県の防災力強化につ 現在の地震被害想定  
いて提言を続けてきま 報告書は、400ページ  
した。そして、昨年2月 を超える膨大な冊子で、  
の県議会で提言した「地 死傷者や建物、ライフラ  
震被害想定を活かした防 インなど県全体の被害量  
災意識の向上」につい が記載されています。

りやすい被害想定  
県は、甚大な被害をも 把握し、物資の備蓄など  
たらす可能性がある地震 地震への備えを進めても  
の被害量を想定し、物資 らえるだろうか」と疑問  
の備蓄や避難所の確保な に感じていました。

取組が進んでおりますの 報量が多く、私は県民の  
で、ご報告いたします。 皆様が見たときに  
「地震災害を現実感  
持つて感じてもらえるだ  
ろうか」「必要な情報  
を

また、年齢や障がい  
の有無、住んでいる地域  
特性など、一人ひとり抱

える事情は異なります。 者、子どもなどの要配慮  
さらに、地震に遭遇する 者を含め、様々な立場の  
状況も自宅や外出先、移 皆様が、地震発生時に遭  
動中など様々であり、状 遇する場面と取るべき行  
況に合わせたきめ細かな 動、事前の備えなどを整  
情報提供も大切です。 理する「県民シナリオ」

そして、多くの方がス の作成を進めています。  
スマートフォンから情報 を作成された場面は、現在  
得ることが主流となって 181の場面に及んでい  
いる中、今後の防災の普 ます。

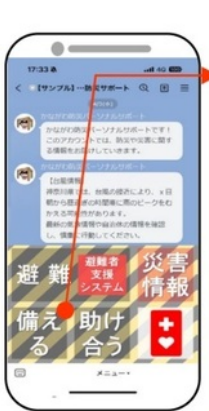
「私の被害想定」が実 現すれば、県民の皆様一  
いて、「県民の皆様が地 人ひとり、お手元のス  
震災害を自分事として 捉 マートフォンや自宅のパ  
え、地震への備えを進め ソンから、ご自身の関  
られるようにするため、 心のある地震被害想定  
DXを活用し、地震被害 内容や、地震発生時に気  
想定の結果を分かりやす くなる場面と対応策など  
く伝え、普及啓発するこ を容易に検索して、調べ  
と」を提案しました。

黒岩知事からは「私 の被害想定」といったD  
Xを活用した仕組みを開 などに備えるためにも、  
発し、災害発生時に県民 その完成が待たれるとこ  
の皆様が直面する場面と ろです。

取るべき行動、事前の備 取。この他にも、県は4月  
えなどをスマートフォン からスタートする新しい  
で検索、確認できるよう 地震防災戦略の中で「防  
にしたい」との、私の提 災DX」と「県民の防災  
案を受け止める答弁があ 意識の向上」を重点プロ  
りました。 ジェクトとし、取組を強  
化していくこととしてお

ります。私が提案するD Xを活用した防災意識の  
向上は、今後さらに広が りを見せたいことが期  
待されます。

県は地震被害想定の見 議会議員の立場から、  
視点から徹底して検討を 「災害に強いかながわ」  
行いました。その想定を の実現に取り組んで参  
りませ。高齢者や障がい



＜「私の被害想定」イメージ＞



「まかせて安心!  
いのちと生活を守る!鈴木ひでし。」  
第109代神奈川県議会副議長、県監  
査委員、公明党県議団団長などを歴任。  
厚生常任委員会、社会・健康対策特別委員会  
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

### システム開発

この「私の被害想定」  
は着実に具体化が進めら  
れています。  
県は地震被害想定の見  
直しにあたって、県民の  
視点から徹底して検討を  
行いました。その想定を  
踏まえ、高齢者や障がい